

地盤調査規格・基準委員会

平成26年度第1回 議事録

日時	平成26年8月12日 (火) 14:00～16:30			場所	地盤工学会 会議室			
委員長	利藤 房男	○	幹事 (岩)	長田 昌彦	×	幹事 (土)	浜田 英治	○
委員	牧角 修	×	WG1委員	窪田 健二	○	WG2委員	辻野 敏文	○
WG2委員	中野 義仁	○	WG3委員	竹内 真司	×	WG3委員	小松 満	○
WG4委員	平林 弘	×	WG5委員	小早川 博亮	○	WG5委員	百瀬 忍	×
WG6委員	藤田 智弘	○	WG7委員	浅井 健一	×	WG7委員	藤崎 勝利	○
WG8委員	伊藤 圭二郎	×	WG9委員	長田 昌彦:兼務	×			

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録 (H26-3-3)	・ 資料26-1-1
基準部会	・ 第1回 (H26-5-2) 議事録・H26メンバー表変更分	・ 資料26-1-2
基準部会 (英訳実行委員会)	・ JGS基準の英文化に関する資料	・ 資料26-1-3
表記法委員会	・ JIS地盤工学用語とWGからの意見	・ 資料26-1-4
ワーキング3・10	・ 活動報告	・ 資料26-1-5 ・ 回覧資料
ワーキング11	・ 活動報告	・ 資料26-1-6
会員からの質問	・ 今年度4月以降の会員からの質問と回答	・ 資料26-1-7

審議事項

(1) JIS地盤工学用語への意見 (資料26-1-4)

・ 下記の要領で用語を見直し、表記委員会に提案することとした。

①見直しの分担

- c) 浸透と地下水→WG 3
- g) 斜面安定→WG 7
- h) 地震と地盤の動的性質 (08001～08003) →WG1
同上 (08004、08005) →幹事 (土)
- i) 岩の性質 (09001～09008) →幹事 (岩)
同上 (09009) →WG 3
- j) 地盤調査と計測 (10001～10010) →WG 2
同上 (10011～10015) →WG 4
同上 (10017) →WG 3

②訂正方法

表記法委員会案 (word ファイル) の定義欄の原案の下に、意見・修正理由を青字で記載し、その下に修正案を赤字で記載する。英語も修正案があれば、同様とする。

③期限

表記委員会への提出期限が 8/30 となっているので、8/27 までとする。

④その他

是非追加してほしい用語がありましたら、定義・英語とともに提案する。

報告事項

- (1) 前回議事録確認（メール審議で承認済み：資料26-1-1）
 - ・特になし。
- (2) 第1回の基準部会議事録（メール配信にて報告済み：資料26-1-2）
 - ・基準部に報告したH26年度のメンバー表について、以下の修正があった。
 - H26年度WG 3の中村リーダーが退任され、代わりに進士委員がリーダーとなった。
 - 9/2の基準部会の報告事項
 - ・WG14は解散したので、基準部会議事録の表からも削除する。
 - 9/2の基準部会の報告事項
- (3) JGS基準の英文化について（資料26-1-3）
 - ・資料「地盤工学会基準の英訳に関するガイドライン（案）」について、以下の意見が出された。
 - 4.①のチェック内容は実行委員で対応する事項であり、各基準を所管する委員会は、別紙-2のフローでは意見照会だけとなっている。したがって、英訳の成果に関しては、実行委員会が責任を持つことになるのか確認が必要。
 - 地盤調査規格・基準委員会では、「正しい専門用語が用いられているか」をチェックする。
 - 図表中の英訳は外注で対応してもらいたい。
 - 8/22の英訳実行委員会の報告事項
 - ・資料「英訳作業優先順位表（案）」について、以下の意見が出された。
 - 国内で現在殆ど使っていないものや、海外でも使われそうにない基準は英訳しても意味がないので、経費節減のためにも削除すべきではないか。
 - 英訳する必要がないと思われる基準を、8/21夕刻までに幹事（土：浜田）までに連絡することとした。
 - 8/22の英訳実行委員会の報告事項
- (4) ワーキング3・10 報告（資料26-1-5）
 - ・WG3（地下水調査）とWG10（不飽和地盤における現場飽和透水係数の測定方法（仮称））の、活動内容について報告された。
 - WG10の基準名について、「地下水より上部の地盤を対象とした透水試験方法」の「上部」を、「上位」にしたらどうか、という意見が出された。
 - 地下水流向流速解説書の最終版を回覧した（メール審議にて承認済み）。
 - 9/2の基準部会の報告事項
- (5) ワーキング11 報告（資料26-1-6）
 - ・動的コーン貫入試験方法の基準案について、「してもよい」等の許容的な表現が使われているので、WG11にその是非を確認することとした。
 - 幹事（土：浜田）が、WG11の幹事（平林委員）に確認をとることとした。
 - 9/2の基準部会の報告事項
- (6) 会員からの質問と回答（資料26-1-7）
 - 今年度（4～7月）の、会員からの質問と回答について報告された。
 - 9/2の基準部会の報告事項
- (7) 次回の委員会日程
 - ・H26年度第2回委員会は11月頃、第3回委員会は2月頃に開催予定とする。